

宮永岳彦記念美術館常設展示室

小田急コーナ―開設記念

写真・資料展

小田急と秦野



平成28年 10月14日(金) ~ 23日(日)

休館日:10月17日(月)

- ◆時 間 10:00~17:00 (初日(14日)のみ12時から)
- ◆会 場 秦野市立宮永岳彦記念美術館 市民ギャラリー
〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北3-1-2 Tel/Fax 0463-78-9100
- ◆共 催 秦野市・秦野市教育委員会
小田急電鉄株式会社
- ◇問い合わせ 秦野市教育委員会生涯学習課(Tel 0463-84-2792)

◆入場無料◆

10/14~30の期間、
常設展示室観覧者(一般300円)に
小田急ノベルティを
プレゼント!!

宮永岳彦記念美術館常設展示室“小田急コーナー”開設記念

写真・資料展

小田急と秦野

平成28年10月14日(金)～23日(日)

休館日:10月17日(月)

10:00～17:00

※初日(14日)のみ、12:00から



3000形SE



3000形SE

大根(現・東海大学前)駅～
大秦野(現・秦野)駅間



大秦野駅(現・秦野駅)
駅舎・ホーム

秦野市ゆかりの洋画家・宮永岳彦は、多彩な画業の中で、企業のポスターやカレンダーなど、多くの商業デザインを生み出しました。

その中でも、小田急電鉄との関係は深く、箱根、丹沢、江ノ島をはじめとする観光ポスターシリーズをはじめ、特急の車内誌「武相旅情」、「車窓の春」などの表紙絵、そして、現在のロマンスカーの原型となった特急ロマンスカー3000形(SE)の外装カラーデザインとその内装など、小田急関連のものを多く手掛けています。

このたび、秦野市と小田急電鉄が連携し、宮永岳彦記念美術館の常設展示室に、画伯がデザインした「新型特急ロマンスカー」のポスターなどを展示する「小田急コーナー」を本年10月14日に開設いたしました。

これを記念して、昭和2年の小田急小田原線開通以来、深い関わりのある秦野市と小田急電鉄との歴史や、歴代の特急ロマンスカーなどを貴重な写真や資料により紹介します。

常設展示室
小田急コーナー
に展示中



「新型特急ロマンスカー」



「箱根路」ポスター

＜宮永岳彦と小田急電鉄＞

宮永岳彦は小田急関連の商業デザインを数多く手掛けている。沿線の観光ポスターシリーズにおける、風景にエキゾチックな美女を配したデザインは人々の足を止め、旅心を掻き立てた。1962(昭和37)年、小田急百貨店が誕生した際には、包装紙第一号を手がけ、墨線描でハルクの建物を浮かび上がらせたシックなデザインに仕上げた。

宮永は秦野に住んでいた当時の自身について、「小田急線には馴染みがあり、普通旅客で私ほど続けて利用しているものはないのでは」と語っていた。多忙な中、都内までの通勤に利用していた小田急線の車窓から見る景色に、安らぎのひと時を感じていたという。

子ども絵画コンクール 「身近なみんなの小田急線」

【応募資格】 市内在住の小・中学生

【募集期間】 11月1日(火)～2017年1月15日(日)

【出品規定】

○テーマ

- ・市内を走る小田急線の電車、駅、乗務員や駅係員などを描いた絵
- ・小田急線への夢や希望などを、自由な発想で描いた絵

○サイズ

四つ切画用紙(380×540mm)：タテヨコ自由

○提出方法

作品裏面に住所・氏名・年齢・電話番号・学校名と学年を記入した用紙を添付(直接記入可)のうえ、宮永岳彦記念美術館に持参。

《詳細は、『広報はだの11/1号』や市HPに掲載》

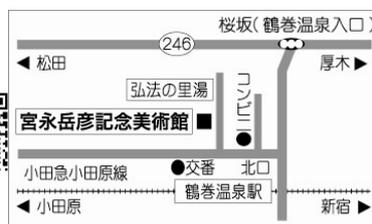
※応募者全員に、小田急電鉄から参加賞があります。

秦野市立 宮永岳彦記念美術館

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北3-1-2

TEL/FAX 0463-78-9100

<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakushu/miyanaga.html>



美術館へのアクセス

- ◆小田急線 鶴巻温泉駅より徒歩2分
- ◆駐車場
弘法の里湯と共用 40台
1時間150円、
以降30分ごとに100円

《隣接》公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL 0463-69-2641